

			追加・変更意見	追加○/削除×	コメントの欄で十分	資料を添付して不十分
490		代表的なケモカイン(列挙)、それらの役割				
491	細胞内情報伝達	細胞内情報伝達に関するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなど(具体例)				
492		細胞膜受容体からGタンパク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路				
493		細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路				
494		代表的な細胞内(核内)受容体(具体例)				
495	(6)遺伝子を操作する	遺伝子操作の基本	組換えDNA技術の概要			
496			細胞からDNAを抽出できる			
497			DNAを制限酵素により切断し、電気泳動法により分離できる	×	○	
498			組換えDNA実験指針を理解し守る	×		
499			遺伝子取扱いに関する安全性と倫理についての配慮	×	○	
500	遺伝子のクローニング技術	遺伝子クローニング法の概要		×	○	
501		cDNAとゲノミックDNAの違い		×	○	
502		遺伝子ライブラリー		×	○	○
503		PCR法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる	PCR法による遺伝子増幅の原理	×		
504		RNAの逆転写と逆転写酵素				
505		DNA塩基配列の決定法		×	○	
506		コンピューターを用いて特異的な塩基配列を検索できる	コンピューターを用いて特異的な塩基配列を検索	×		○
507	遺伝子機能の解析技術	細胞(組織)における特定のDNAおよびRNAを検出する方法				
508		外来遺伝子を細胞中で発現させる方法	特定遺伝子を細胞中で発現させる、あるいは発現抑制させる方法	×	○	
509		特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法	特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作製法			
509			ES細胞および体細胞クローンを概説	○		
509			遺伝子組換え生物の知識・取扱い	○		
509			siRNAやアンチセンスオリゴの技術を用いたノックダウン	○		
510		遺伝子工学の医療分野での応用(例示)				
510			病気、病態と関連する遺伝子	○		
510			遺伝子組み換え食品	○		

			追加・変更意見	追加○/削除×	コメントの欄で十分	資料を添付して不十分
510			ヒトESやIPS細胞の培養・各組織への分化に関する再生医療	○		
C10	生体防御					
511	(1)身体をまもる	生体防御反応	自然免疫と獲得免疫の特徴とその違い			
512			異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアー			
513			補体の活性化経路と機能			
514			免疫反応の特徴(自己と非自己、特異性、記憶)	×	○	
515			クローン選択説	×	○	
516			体液性免疫と細胞性免疫(比較)			
517	免疫を担当する組織・細胞	免疫に関与する組織と細胞(列挙)	免疫に関与する組織と細胞			
517			Th1/Th2/Th17細胞がそれぞれ担当する生体防御反応を説明できる	○		
517			リンパ系細胞の活性化とエフェクター機能発現、およびその制御機構を説明できる。	○		
518			免疫担当細胞の種類と役割			
519			食細胞が自然免疫で果たす役割			
520			免疫反応における主な細胞間ネットワーク			
520			胸腺内T細胞分化による自己の確立を説明できる。	○		
521	分子レベルで見た免疫のしくみ	抗体分子の種類、構造、役割				
522		MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割				
523		T細胞による抗原の認識				
523			T細胞、NKTやNK細胞による抗原の認識について説明できる	○		
524			抗体分子およびT細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再構成)			
525			免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカイン(列挙)とその作用			
525			免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカインとその作用 Toll様受容体の構造と機能	○		
526	(2)免疫系の破綻・免疫系の応用	免疫系が関係する疾患	アレルギーの分類、担当細胞および反応機構			
527			炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構			
528			代表的な自己免疫疾患の特徴と成因			
529			代表的な免疫不全症候群(列挙)、その特徴と成因			
530	免疫応答のコントロール	臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)				
531			細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫応答との関わり			
532			腫瘍排除に関する免疫反応			
533			代表的な免疫賦活療法	×		
534	予防接種	予防接種の原理とワクチン				

		追加・変更意見		追加○/削除×	0817の補正で十分	0817の補正で十分
535		主なワクチン(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチン)の基本的特徴				
536		予防接種の種類と実施状況				
537	免疫反応の利用	モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法				
538		抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理				
539		沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる	沈降、凝集反応を利用して抗原を検出	×		
540		ELISA法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出・判定できる	ELISA法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出、判定	×		
541	(3)感染症にかかる	代表的な感染症				
		主なDNAウイルス(サイトメガロウイルス、EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス、アデノウイルス、パルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス)が引き起こす代表的な疾患	主なDNAウイルス(ヘルペスウイルス、アデノウイルス、パルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス)が引き起こす代表的な疾患	×		
542		主なRNAウイルス(ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、Q型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス)が引き起こす代表的な疾患	主なRNAウイルス(ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、フラビウイルス、ノロウイルス、風疹ウイルス、ロタウイルス)が引き起こす代表的な疾患	×		
543		レトロウイルス(HIV、HTLV)が引き起こす疾患		×		
544		グラム陽性球菌(ブドウ球菌、レンサ球菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	グラム陽性球菌(ブドウ球菌、レンサ球菌)の特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		
545		グラム陰性球菌(淋菌、髄膜炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	グラム陰性球菌(淋菌、髄膜炎菌)の特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		
546		グラム陽性桿菌(破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	グラム陽性桿菌(破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌、ウェルシュ菌、腸炎ビブリオ菌)の特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		
547		グラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、結核菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患		×		
548		グラム陰性スピリルム風病原菌(ヘリコバクター・ピロリ菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	螺旋菌(キャンピロバクター、ヘリコバクター)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患 ・グラム陰性スピリルム風病原体(ヘリコバクター・ピロリ菌)の特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		
549		抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌)の特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		
550		スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		

		追加・変更意見		追加○/削除×	0817の補正で十分	0817の補正で十分
551		真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル)の微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル)の特徴とそれが引き起こす代表的な疾患	×		
552		代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患				
553		プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序	プリオン感染症の病原体の特徴			
554	感染症の予防	院内感染の発生要因、感染経路、原因微生物、およびその防止対策				
C11 健康						
555	(1)栄養と健康	栄養素(三大栄養素、ビタミン、ミネラル)(列挙)、それぞれの役割	栄養素(三大栄養素、ビタミン、ミネラル)、それぞれの役割	×	○	
556			マクロミネラル(Cl、Mg)、ミクロミネラル(Mn、Cu、I、Mo、Se、Zn、Co、F、Cr)の役割	○	○	
557		各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセス		×	○	
558		脂質の体内運搬における脂質リポタンパク質の栄養学的意義		×		
559		食品中のタンパク質の栄養的価値(栄養価)				
560		エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、エネルギー所要量の意味	エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、推定エネルギー必要量の意味			
561		栄養素の栄養所要量の意義	日本人の食事摂取基準の意義			
562			食事バランスガイド	○		
563			健康日本21	○		
564			食生活指針	○		
565		日本における栄養摂取の現状と問題点				
566			世界の食糧事情	○		
567		栄養素の過不足による主な疾病(列挙)				
568			マクロミネラル(Cl、Mg)、ミクロミネラル(Mn、Cu、I、Mo、Se、Zn、Co、F、Cr)の過不足による主な疾病(列挙)	○		
569			メタボリック症候群への対応(BMIの意味、計算、エネルギー摂取、運動などの関連)高血圧、高脂血症、糖尿病などの予防、対応について、(栄養学の視点から)	○		
570	食品の品質と管理	食品が腐敗する機構		×	○	
571		油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる	油脂が変敗する機構と油脂の変質試験 ・油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験(指標)の意義を説明できる ・油脂が変敗する機構とそれを評価するための試験法	×	○	
572		食品の褐変を引き起こす主な反応とその機構		×	○	
573			食品安全基本法	○		
574			食品と法規制	○		
575		食品の変質を防ぐ方法(保存法)		×	○	
576		食品成分由来の発がん物質(列挙)、その生成機構	食品成分由来の発がん物質、その生成機構	×	○	
577		代表的な食品添加物(用途別列挙)、それらの働き	代表的な食品添加物(用途別)、それらの働き	×	○	
578		食品添加物の法的規制と問題点		×	○	

			追加・変更意見	追加○/削除×	コメントの欄に十分	図表は挿入して不潔
569			食品添加物の法的規制と問題点(食品衛生法、食品安全基本法)	○		
570		主な食品添加物の試験法を要約できる	主な食品添加物の試験法(測定原理、計算)	×	○	○
571		代表的な保健機能食品(列挙)、その特徴	保健機能食品の法的規制	○		
571		輸入食品の安全性確保	食糧自給率の推移と輸入食品の安全性確保	○		
571			輸入食品監視体制と現状(違反事例等)	○		
572		遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点について討議する	・遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点を列挙する ・遺伝子組み換え食品の現状と問題点を説明できる ・遺伝子組み換え食品の現状と問題点	×		
573		食中毒	食中毒の種類(列挙)、発生状況	×	○	
573			食中毒の種類(列挙)、発生状況およびその防止対策	○		
573			・HACCPの理解と実践 ・HACCPについて説明できる	○		
574		代表的な細菌性・ウイルス性食中毒(列挙)、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法	HACCP	×	○	
575		食中毒の原因となる自然毒(列挙)、その原因物質、作用機構、症状の特徴	食中毒の原因となる自然毒、その原因物質、作用機構、症状の特徴	×	○	
576		代表的なマイコトキシン(列挙)、それによる健康障害	代表的なマイコトキシン、それによる健康障害	×	○	
577		化学物質(重金属、残留農薬など)による食品汚染(具体例)、ヒトの健康に及ぼす影響	食品汚染(具体例)、ヒトの健康に及ぼす影響	×	○	
577			健康食品による健康被害	○		
578	(2)社会と集団と健康	保健統計	集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義	×	○	
579			人口静態と人口動態	×	○	
580			国勢調査の目的と意義	×	○	
581			死亡に関する様々な指標の定義と意義	×	○	
582			人口の将来予測に必要な指標(列挙)、その意義	×	○	
583		健康と疾病をめぐる日本の現状	死因別死亡率の変遷	×	○	
584			日本における人口の推移と将来予測	×	○	
585		高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する	高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙する	×	○	
586		疫学	疾病の予防における疫学的作用			
587			疫学の三要因(病因、環境要因、宿主要因)	・感染症成立の三要因(病因、環境要因、宿主要因) ・病因(宿主要因と環境(物理化学的、生物学的、社会的)要因)		
588			疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法			
589			患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる	患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比について簡単に計算ができる		

			追加・変更意見	追加○/削除×	コメントの欄に十分	図表は挿入して不潔
590			要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度・寄与危険度を計算できる	要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度について簡単に計算ができる		
591			医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性	×		
592			疫学データを解釈する上での注意点(列挙)	疫学データを解釈する上での注意点		
593	(3)疾病の予防	健康とは	健康と疾病の概念の変遷とその理由	健康と疾病の概念の変遷とその必要性(「健康日本21」)		
594			疾病構造の変化	○		
594			世界保健機構(WHO)の役割	世界保健機構(WHO)の役割		
595		疾病の予防とは	疾病の一次、二次、三次予防			
596			疾病の予防における予防接種の意義	×		
597			新生児マスキリーニングの意義、代表的な検査項目(列挙)	新生児マスキリーニングの意義、代表的な検査項目	×	
598			疾病の予防における薬剤師の役割について討議する	・疾病の予防における薬剤師の役割について説明する ・疾病の予防における薬剤師の役割について討議する(学校薬剤師、かかりつけ薬局など) ・予防薬学		
599		感染症の現状とその予防	現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症など)の特徴	現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症、マラリアなど)		
600			新興感染症および再興感染症(代表例列挙)	新興感染症および再興感染症(代表例列挙と要因)		
601			一、二、三類感染症および代表的な四類感染症(列挙)、分類の根拠	一、二、三類感染症および代表的な四、五類感染症、新感染症、分類の根拠、それらの防止対策		
602			母子感染する疾患(列挙)、その予防対策			
603			性行為感染症(列挙)、その予防対策と治療	性感染症(列挙)、その予防対策と治療		
604			予防接種法と結核予防法の定める定期予防接種の種類(列挙)、接種時期	・予防接種法の定める定期予防接種の種類(列挙)、接種時期 ・感染症法と予防接種法の定める定期予防接種の種類(列挙)、接種時期		
605		生活習慣病とその予防	生活習慣病の種類とその動向	×		
605				三大生活習慣病(がん、心臓病、脳卒中)の種類とその動向	○	
605				肥満と糖尿病の動向	○	
606			生活習慣病のリスク要因			
607			食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わり			
608		職業病とその予防	主な職業病(列挙)、その原因と症状	主な職業病(列挙)、その原因と症状、その予防と治療		
C12 環境						
609	(1)化学物質の生体への影響	化学物質の代謝・代謝的活性化	代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセス	×		
610			第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化	第一相反応が関わる代謝的活性化	×	
611			第二相反応が関わる代謝、代謝的活性化	第二相反応が関わる代謝的活性化		